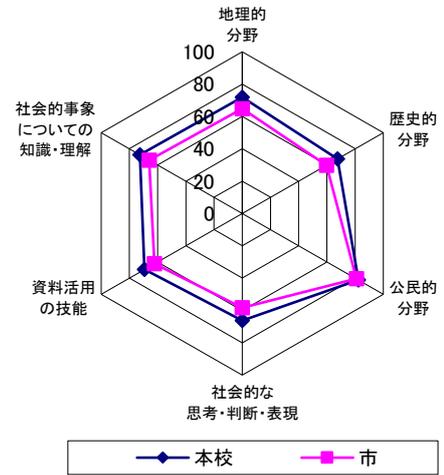


宇都宮市立星が丘中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	71.9	64.8	54.5
	歴史的分野	67.5	59.7	52.2
	公民的分野	82.3	80.9	69.4
観点別	社会的な思考・判断・表現	66.3	58.3	49.5
	資料活用技能	69.4	62.2	53.1
	社会的事象についての知識・理解	72.6	66.0	57.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> ○領域の正答率は、市の平均を7.1ポイント上回っている。 ○緯度と経度、大陸と州、農作物の県別生産割合などの正答率がとくに高く、基礎的な学習内容の定着は良好である。 ○資料の読みとりも市の平均を8.2ポイント上回り、概ね良好である。 ●市にも見られる傾向であるが、文章で説明する問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読みとる力や思考する上での着眼点は身につけているが、その結果を文章で適切に表現する力を伸ばしていく必要がある。
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> ○領域の正答率は、市の平均を7.8ポイント上回っている。 ○歴史的事実の詳細な内容まで踏みこんだ問題については、とくに正答率が高く、用語や人物名をただ知っているだけにとどまらず、事象が起こる背景や影響などについても理解ができていることがわかる。 ●今まで見たことのない資料を読みとる問題が、やや正答率が低くなる傾向が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読みとる際に、何を読みとるかだけでなく、その事実の原因や結果、影響などについても考えるよう指導していく。
公民的分野	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、市の平均よりやや高くなっている。 ・公民は問題の配点自体が少なかったため、傾向を見とることはできなかった。 ○4問中3問(情報化・少子高齢化・グローバル化)が、市の平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題について、事例や実データをもとに理解させていくとともに、それに対する自分自身の意見を持たせていく。